



2025年11月

第74号

備前市議会だより

おもな内容

- P 2 ～ 定例会・臨時会概要
- P 4 ～ 一般質問 ～12議員が質問に立つ～
- P 11 ～ 各委員会審査
- P 14 議案等審議結果
- P 15 お知らせ 外
- P 16 次期定例会の予定・議会報告会お知らせ

9月定例会の概要

第5回定例会は9月3日に招集され、9月30日までの28日間にわたる会期で開催されました。開会日に市長、教育長から市政、教育行政の全般にわたる報告を受け、議案上程が行われました。この定例会に付議された案件は、31議案、諮問1件、報告2件、請願1件でした。

一般質問は9月10日、11日、12日の3日間で12人の議員が行い、質疑は9月16日に11案件に対して行われました。

最終日には各委員長が審査結果を報告し、採決では賛否の分かれた案件を討論の後、それぞれを議決して閉会しました。

■令和7年度一般会計補正予算（第5号）【修正可決】

原案、委員会修正案について、3人の議員による討論が交わされ、委員会修正案を賛成多数で可決しました。討論の概要は次の表をご覧ください。

令和7年度一般会計補正予算（第5号）討論の概要

〈原案に賛成〉	○今回の補助金増額の提案は、観光協会の窮状にどう対処すべきかが問われている。本来、数年前の補助金減額時にしっかりと協議されるべきことであるが、万が一、十分な協議がなされていないのであれば、予算承認後の附帯決議で議会の意思を示すこともできる。決算書からは事業継続が極めて困難なことが分かる。補助金削減の先には観光協会の解散、雇用の減少など備前市にとってマイナスでしかない。 ○4年間見送ってきた観光協会の立て直しは喫緊の課題である。本市の観光業を担う方を応援し、育成し、交流人口を増やすことこそ大事である。また、観光協会は立派な再生計画を作成されている。これをダメと言うなら商工会議所、施設管理公社、労働組合協議会の補助金との整合が取れない。ただ1つだけ削減する理由が見つからない。
〈委員会修正案に賛成〉 観光協会補助金の増額に関連する予算を削除	○団体の運営は自主財源で行うことが望ましく補助金が聖域化、既得権化されないよう、また、補助制度によって初期の目的が達成されるよう補助することが重要である。要望書では財政状況が厳しいことも見て取れるが、補助金が団体の事業費補填であってはならない。観光行政において、市の方向性と一体となる事業に限り補助されるべきものであり、基本的には独立採算を基本として事業運営されるべきである。

■観光旅客船建造事業の請負契約の変更【原案可決】

建造と艀装の施工区分が干渉する部分について施工方法の協議に不測の日数を要したため、9月30日の工期を12月31日に変更するもの。

本案について、2人の議員から賛否を表明する討論が交わされ、採決の結果、賛成多数で請負契約の変更を可決しました。

原案に賛成

工期設定はずさんであるが、工期延期を認めなければ未完成の船が引き渡される。まずは完成させるべきと考える。

原案に反対

運航計画、財政計画も無く、さらに直営か委託かも定まらないまま工期の延長は許されない。

■請願第17号【不採択】

「吉村武司前市長の認諾申出書の作成及び使用についての調査を求める請願」は、認諾申出書が原告代理人から提出されているという不可解な点はあるが、現在係争中であり、市当局が意思決定した文書でないと確認していることなどから、議会で特別に調査する必要がないとの討論があり、賛成少数で不採択となりました。

7月臨時会の概要

第4回臨時会が7月16日に開催され、補正予算など5件が提案されました。当日中に各委員長が結果報告を行い、それぞれを可決・同意して閉会しました。

なお、9月定例会及び7月臨時会に付議された議案等の審議結果につきましては14頁を、各議員の賛否は次の一覧をご覧ください。

(編集委員 藪内 靖)

各議員の賛否一覧

案 件		上 段：会 派 名		下 段：議 員 名		公 備		日 備		新		経			市			無			賛	反
		明 議		党 団		本 産		志		民			政			所						
		森	奥	中	松	石	藪	守	尾	山	内	土	丸	立	青	草	成	対				
一般会計補正予算 (第5号)	委員会修正案	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	8	7			
	修正を除く原案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	15	0			
令和6年度 水道事業会計決算の認定		○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	13	2			
観光旅客船建造事業の請負契約の変更		○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	12	3			
吉村武司前市長の認諾申出書の作成及び使用についての調査を求める請願		×	×	○	○	×	×	×	×	—	×	×	—	×	○	×	3	10				

- 【表の見方】
- 1. 「○」は賛成、「×」は反対、「—」は表決に加わっていないことを表します。記名投票による表決は投票賛否を、起立表決による表決は、「着席者を否（反対）とみなす」備前市議会の先例に基づいて記載しています。
 - 2. ■は討論を行った議員を示します。

一般質問の要旨

登壇した12議員の一般質問通告事項は次のとおりです。

質問議員	質 問 事 項	質問議員	質 問 事 項
1 青 山 孝 樹	1 前市政の総括と今後の市政の方向性について 2 まちづくり会議について 3 伊里公民館の建て替えについて 4 教育について 5 本市の文化スポーツ行政について	7 奥 道 光 人	1 熱中症対策について 2 インフラ整備について 3 文化施設について 4 ビーテラスについて
	2 内 田 敏 憲	8 尾 川 直 行	1 新図書館の進捗状況について 2 地方創生2.0基本構想の取組は 3 備前市学びと遊びの健康プラザ開館から 4 学力テスト結果、教育行政について 5 備前市文化財保存活用地域計画推進と片上地区交流館整備について
3 中 西 裕 康	1 「一旦立ち止まって」考える事業はなにか 2 「一旦立ち止まって」考えるスキームと工程を示すべきでは 3 美術館館長の報酬の決定は公の中で 4 A L Tの交付税について 5 障がい者の相談生活支援体制は、24時間対応が必要 6 ふれあい福祉まつりについて、来年度は開かれたまつりに 7 ロサンゼルスメジャーリーガー応援ツアーについて、来年は実施を考えているか	9 森 本 洋 子	1 自治会について 2 公共交通について 3 英語教育について 4 ごみの分別について
	4 松 本 仁	10 丸 山 昭 則	1 令和7年度9月補正予算の概要より 2 防災について
5 石 原 和 人	1 大規模事業の現状と今後の方針について 2 公共施設個別施設計画について 3 体育施設について 4 補助金について	11 藪 内 靖	1 市長とトークに関して 2 職員の意見の吸い上げ（ボトムアップ）に関して 3 早期退職を希望する職員に関して 4 市長が考える市政「布武」に関する具体策に関して 5 備前丸の今後に関して 6 備前市美術館に関して 7 各種補助金に関して 8 浜山運動公園に関して 9 デマンドタクシーに関して 10 ビーテラスに関して 11 A L Tに関して 12 インフラ整備に関して
6 立 川 茂	1 危機管理・防災対応について 2 公共交通について 3 子育て支援について 4 A L Tについて	12 守 井 秀 龍	1 令和6年度決算状況について 2 防災対策について 3 人口減少対策について 4 日本遺産活用による観光推進について 5 備前市の均衡ある発展について



目指すは「市民とともに つくるまちづくり」

無所属

青山 孝樹



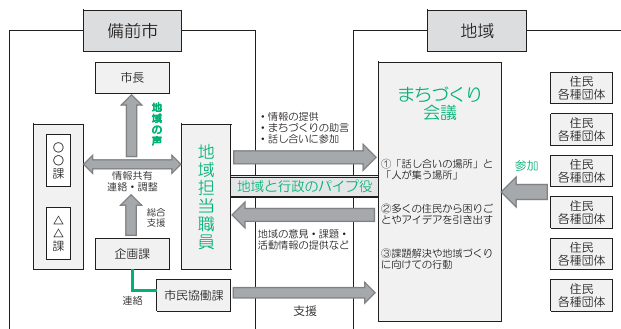
本会議録を作成するまでの間、二次元コードから一般質問の映像をご覧になれます

問 前市政の総括と今後の方向性について。

市長 市民福祉の向上に効果が発揮されている事業は引き継いで更なる進化を図るが、市民の意見が十分に反映されず、現状分析や計画が不十分な事業は大胆な見直しが必要と考える。

問 住みよい、住み続けたい地域づくりを、地域の組織・団体や老若男女の代表が考え話し合い、同席の地域担当職員が意見や要望を役所に持ち帰って市長や担当課に伝え、市政に反映する仕組みである「まちづくり会議」の再構築と活用について。

市長 今後も活動を継続する地区には補助金等の支援を行い、活動できていない地区には「まちづくり会議」を活用してコミュニティの活性化を図るように推奨する。



市民と行政の協働のしくみ「まちづくり会議」(H30年作成資料)

問 伊里公民館の建て替えと、それに伴う熊沢蕃山顕彰記念館の併設について。

市長 伊里公民館の建て替えは、公共施設の中で優先順位の高いものとして検討する。熊沢蕃山記念館は、地域の偉人を検証し、まちづくりや地域の活性化を図るうえで非常に重要であり、公民館の建て替えを検討する際に整備についても考える。

問 備前市スポーツ推進計画にあるスポーツコミッションの立ち上げについて。

教育長 設立に至っていない。設立目的を明確にし、実行力を伴った持続可能な運営に向けた組織形態を研究してまいります。



道の駅建設で地域活性化を

市政会

内田 敏憲



本会議録を作成するまでの間、二次元コードから一般質問の映像をご覧になれます

問 備前市美術館の現状と今後の運営について、また「備前市の日」を制定して備前市民無料の日があってもよいのでは。

市長 7月12日の開館から開館記念特別展の「ピカソの陶芸」や「備前の現代陶芸・至極の逸品」を実施し、現在は約7,500人の来館があり、年間3万人を目標とする入館者数達成の数値を維持している。アンケート結果から、市外から多くの方が来館され、備前焼の購入や伊部街中散策で立ち寄った方も多く、今後の展示に期待する声が寄せられている。市民を無料とする「備前市の日」制定については考えていないが、文化祭行事と連携し、より多くの市民が参加できるよう検討していく。



備前の現代陶芸：至極の逸品

問 9月1日付けでビーテラス担当の人事異動を発令したことも含め、3階、4階の活用について市長は今後どのようにしていくのか。

市長 3階部分の具体的な利用形態については、専門家の助言なども参考に、管理運営経費を可能な限り効率化する手法を検討したい。未整備の4階部分については、どのような活用が望ましいか、幅広く検討していく。

問 「道の駅」建設で地域の活性化を。

市長 道の駅は地域の魅力を発信し、観光や産業振興に寄与する可能性をもっている。直近では伊部小学校用地を調査し、面積基準を満たすことが難しいとの結論にいたっているが、今後も引き続き道の駅整備の必要性や採算性について調査・研究を進めていく。



「一旦立ち止まって」考えることが 大切 事業の洗い出しを

日本共産党備前市議団
中西 裕康



本会議録を作成するまでの間、二次元コードから一般質問の映像をご覧になれます

問 「一旦立ち止まって」考える事業は何か。

市長 浦伊部の職員住宅、市役所北側住宅、トーランス、ヴァロリスとの国際交流事業。自治体国際化協会3人、中央省庁3人が今年度末で本市に戻ってくる。伊里・井田地区宅地造成事業、旧伊部保育園調査費、IB教育、備前病院南側用地等の見直しを検討中。

問 全ての事案を洗いだすべきではないか。

企画財政部長 職員からボトムアップで上がってきたものをまとめ、議会にお示ししたい。

問 ロサンゼルスメジャーリーガー応援ツアーは来年は行うのか。

市長 ロサンゼルス応援ツアーについては、今後の実施は考えていない。

問 備前市美術館長の報酬は私の行政文書の開示請求によれば、「不開示」つまり備前市に文書がないとなっている。報酬の決定が不明瞭なことは地方自治法にも反し、民主主義の根幹に関わるが、どこで決まったのか。

また、予算と支払時で報酬金額が違っている。過払いなら、返還手続きを。

副市長 報酬は約700万円、予算化までの経過の決定根拠が明らかになっていないことは真摯に受けとめさせていただきます。

問 ふれあい福祉まつりを来年は開かれた祭りとして、施設整備の進む片上地区で行っては。

市長 開催場所は実行委員会やこどもまんなかフェスタ他団体に提案、協議、検討したい。



昨年のふれあい福祉まつり



新観光船運航(利用)計画は 12月末日に延期

日本共産党備前市議団
松本 仁



本会議録を作成するまでの間、二次元コードから一般質問の映像をご覧になれます

問 8月末に進水式を終えた新観光船の運用計画は。前市長の提案であれ、市民は9月中には就航すると思っていた。行政の信用性が問われているが、いかがお考えか。

市長 提示できる計画案はない。いろいろな原因で就航が12月末になる予定。運航手法等、ランニングコストを最小限に留める方向で、部局横断的なプロジェクトチームを設置し、具体的な運航計画等を決定していく。

問 新美術館の入館者目標、収支目標はどう考えているのか。

市長 入館者は年間3万人を目標としており、開館から1ヶ月半で7,500人の来館があり、目標を達成する数値を維持している。

問 従来備前焼陶友会が担ってきた備前焼伝統産業会館の管理運営はどうなるのか。

市長 備前市文化芸術振興財団を中心に施設管理をしていく。



備前焼伝統産業会館

問 備前焼陶友会に入っていない備前焼作家、従事者が陶友会会員数より多い中、入会していない方々の意見も聞くべきでは。

市長 陶友会の会員でない作家の意見等もお伺いするとともに、積極的な交流に努める。

問 各地区、町内会から担当支所へ出された道路補修、手すり設置など生活環境の改善要望件数は。その内、当年度に実施された件数は。

市長 下記のとおり。

3年間の生活環境改善要望件数

年度	要望件数	実施件数	金額(千円)
R4	536	215	37,595
R5	483	248	38,564
R6	335	267	42,414



大規模事業について

新志会
石原 和人



本会議録を作成するまでの間、二次元コードから一般質問の映像をご覧になれます

問 美術館の今年度の運営経費はいくらか。

市長 指定管理料約1億716万円、企画展事業補助金約8,854万円、人件費約6,160万円。

問 年間2億5,000万円以上の経費がかかけられ、あまりにも特別扱いが過ぎるのではないか。来年度に向け、精査を願うがいかがか。

市長 今後、財団と話し合い決めていきたい。

問 備前長船刀剣博物館との共通入場割引制度の導入など、連携は考えられないか。

市長 瀬戸内市と協議していきたい。

公共施設個別施設計画について

問 令和3年度からの10年間で、238施設368棟の施設をどうしていくかを計画策定されているが、その後、公共施設の様子も随分変わっている。ここで中間評価、検証され、見直しも図るべきでは。

市長 令和8年4月施行を目指し、担当部署の創設や専属の職員配置を検討し、見直していく。

体育施設について

問 以前より指定管理料が2割以上減額され、厳しい管理運営が続いている。そんな中、本議会の補正予算に指定管理料増額が提案されているが、そもそもの大幅減額の根拠は何だったか。

生涯学習部参与 経費節減のためである。

問 前回議会の一般質問で、新球場建設や久々井野球場への電光掲示スコアボード整備の要望も出されたが、そのような新規の大規模事業の前に、既存施設の雨漏りや塗装の劣化などに対する対応を優先すべきと考えるがいかがか。

教育長 9月中に、施設を管理している団体と一緒に、すべての体育施設の点検を予定している。確認して、検討していきたい。



危機管理と各種支援策について

無所属
立川 茂



本会議録を作成するまでの間、二次元コードから一般質問の映像をご覧になれます

危機管理・防災対応について

問 線状降水帯への対応は。

市長 特定した対応の定めはなく「風水害」としての対応に含まれている。今後は、気象情報をベースとして対応する。複雑、多様化する災害に対応するために広報・啓発についても、更に検討する。



増水後の荒れた河川

公共交通について

問 高齢者の通院、買い物以外の利用促進は。貸し切り利用は出来ないでしょうか。

市長 市営バス、デマンドタクシーの貸し切り利用は「公共交通」の観点からも実施は難しいと考えます。高齢者の外出支援策は交通担当部局及び福祉担当部局を中心に取組を検討していく。

子育て支援について

問 認定こども園の入園申請について。

教育長 小さなお子様がおられる場合、急な用事や都合でお預かりできる一時保育の制度をご利用ください。また、就活や家庭の事情でタイトなスケジュールとなる場合は事前登録しておけば様々な制度の利用もできます。

問 子育て支援、特に修学前の支援窓口は。

保健福祉部長 保健福祉部において、こども家庭センター「すこやかびぜん」を設置し、保健師3名、子ども家庭支援員1名・母子父子自立支援員1名を配置する相談体制をとっています。



安心・安全、 豊かな市民生活を

公明党備前市議員
奥道 光人



本会議録を作成するまでの間、二次元コードから一般質問の映像をご覧になれます

熱中症対策について

問 令和7年度熱中症対策事業は。

市長 昨年に引き続きクーリングシェルの開設とウォーターサーバーの設置を継続している。

問 吉永公民館・市民センター・日生市民会館のエアコン修理は。

市長 市役所内に部局横断的なプロジェクトチームを設けて検討を進める。

問 エアコン設置補助と電気代補助の継続は。

市長 エアコン設置助成事業は、対象を段階的に拡大して、対象者への支援はできたものと考えている。他市の取り組みを参考にして、広く市民への支援ができるような制度を検討する。

インフラ整備について

問 上下水道の点検と調査の計画について。

市長 上水道の漏水調査は年間60km。個別音調調査2,600戸を予定している。下水道は幹線で腐食の可能性の高い管渠300mの目視点検、カメラ調査を実施する。財源は企業債と国庫補助金を活用する。

問 具体的な整備計画は。

市長 今年度、上下水道ともに経営戦略を見直す予定としている。

文化施設について

問 修繕が必要ではないか。

市長 文化施設の老朽化で修繕が必要な箇所が出てきている。利用者の利便性、展示品への影響を考慮し、優先順位を考えて対応している。

問 ビーテラス課の創設を。相談窓口は必要。

市長 施設全体を統括する部署の設置について、貴重な提案と受け止める。



ビーテラス



新図書館の進捗状況と ミッション確認

経民会
尾川 直行



本会議録を作成するまでの間、二次元コードから一般質問の映像をご覧になれます

問 図書館は「知の拠点」、「地域創生を担う施設」。基本方針の実現、新図書館審査委員等との連携、情報交換の状況、当初計画から整備内容に変更はないか。図書館長の選任、司書研修、片鉄広場整備、片鉄ロマン街道延伸の取組は。

市長 開館に向けて図書館サービスや機能、活用方法などを話し合う市民ワークショップを随時開催し意見を求めている。整備内容に基本的な計画変更はないが、工事費削減に向けて検討している。

新図書館長は現在募集中。司書養成は研修受講、他図書館の視察などを行っている。ボランティアの皆さんとの協働にも取り組む。教育委員会会議で図書館活動課長と情報交換を行っている。

片鉄ロマン街道起点変更、延伸は、県側は難しいとの回答。

教育長 図書館員、司書の役割の重要性は認識している。来館者とのコミュニケーションが重要、多くの人に本の魅力が伝わるよう、イベント等を通じ図書館のミッション達成に行動する。

また、学校司書と新図書館との兼務を検討する。



新図書館イメージ

「地方創生2.0」

若者、女性流出へのリーチ不足の取組は

問 地方創生1.0の反省点として、若者と女性の流出要因へのリーチ不足の指摘がある。若者、女性から選ばれる地域づくりに、非正規公務員の待遇改善、女性の不安定な雇用の改善への取組は。

市長 現在進めている総合計画の見直しにおいて、高校生や世代の異なる女性に参加したワークショップの開催、若手職員のチームによる子育て世代へのインタビューの実施など、カギを握る世代に対する直接的なアプローチを実施している。



地域を支える自治会

公明党備前市議員
森本 洋子



本会議録を作成するまでの間、二次元コードから一般質問の映像をご覧になれます

自治会について

注 日本全国で自治会役員のなり手不足、自治会加入や活動参加者の減少が課題。本市の対策は。

市長 高齢化が進み、ライフスタイルの多様化による地域コミュニティのつながりが希薄となっており、自治会運営が難しくなっていることは承知している。世代間のつながりを強め、地域に次世代の担い手を育てていただくことが求められている。自治会連絡協議会で「担い手づくり」をテーマに研修したり、まちづくり会議の事業など世代間のつながりを持つ活動の支援、ふるさとづくり事業補助金等での助成などで次世代が育つような地域の活動をサポートしていきたい。

問 備前市自治会ハンドブックに、自治会からの問い合わせをQ&Aのような形式で載せてはどうか。

市民生活部長 見直しをかけ、加えていきたい。

問 備前市として、外国人の方のサポートセンターを開設してはどうか。

市長 現在、特別永住者を除く、本市在住の18歳以上の外国人すべてに「日常生活で困っていること」、「市役所にお願いしたいこと」などのアンケート調査を実施中。その結果を踏まえて、どのようなサポートが必要か、提供体制等を検討していく。



令和7年度9月補正予算の概要

市議会
丸山 昭則



本会議録を作成するまでの間、二次元コードから一般質問の映像をご覧になれます

問 備前商工会議所補助金850万円の増額について、具体的な内訳は何でしょうか。

市内の1団体である商工会議所のみに補助する事は公金のばら撒き、恣意性があり、市長選挙の見返りではないか。

商工会議所の事業計画書、予算書のどこにこのような大金を付ける必要があるのか。

市長 補助金の内訳は、経営指導員や専門家による各種相談事業、事業承継支援、創業支援などであり、必要性についても、中小企業の事業継続や、新規創業者の支援をするため補助金増額の必要性があると考えている。



備前商工会館

問 観光協会の補助金は、年間130万円です。承済みである。770万円の増額について、目的は何か。要望書はいつ出たのか。

市長 観光協会は市の観光振興施策の担い手となる団体であり、市と共に歩いていくものと認識しているが、事業継続が困難な状況であるため必要な助成と考えている。要望書の提出は令和7年7月30日である。

問 陶友会の所有の観光バス専用駐車場は、すでに駐車場としての機能は十分に果たされており、改めて市がこの土地を購入する必要性について、合理的根拠があるのか。市民の理解を得られているのか。

市長 不足している美術館の駐車場としても使用できること、又関係人口の創出・拡大、インバウンド需要の増加による地域経済の活性化につながり、市と備前焼陶友会の双方にメリットがあると考えている。



インフラ整備

新志会
藪内 靖



本会議録を作成するまでの間、二次元コードから一般質問の映像をご覧になれます

問 市長とトークについて、商業施設、病院、こども園を訪問したり、ミニ集を開くなど、スピード感をもって生の声を聞かれては。

市長 ご指摘のとおり、市民の声を直接お聞きしながら意見を交わしたく、少人数での意見交換会を検討していきたい。

問 備前丸について、ここに来て更なる工期延期、何も決まっていらない、いっそ売却しては。

市長 現状、売却等は考えていない。ランニングコストを最小限に留める方向を検討するとともにプロジェクトチームによる活用計画の検討を行う。

問 デマンドタクシーについて、利用時間を1時間延長して利用状況に変化は。また、利用者が一部の方に偏っているが対策は。

市長 8月に時間延長を行い、前月比で利用件数は増加している。高齢者は買い物や通院で決まった曜日、時間に外出される傾向にあり、交通手段を持たない方の利用では、ある程度偏るのはやむを得ない。過剰な利用については、制度の趣旨をご理解いただけるよう努める。

問 インフラ整備について、水道管の耐震化率アップと日生駅・寒河駅の交通インフラ整備。

市長 今年度、管径500ミリの基幹管路の更新計画を策定し、水道管の耐震化を進める。

日生駅は海が見える数少ない駅舎であり、その潜在的な魅力を最大限引き出せるよう周辺整備も併せて検討している。

寒河駅の造成は概ね完了しており、今後は、関係機関と調整し来年度の整備に向け、スケジュールや具体的内容について準備を進めている。



JR寒河駅前駐車場予定地



備前市の均衡ある発展について！

経民会
守井 秀龍



本会議録を作成するまでの間、二次元コードから一般質問の映像をご覧になれます

問 合併して20年の旧備前市、旧日生町、旧吉永町。改めてそれぞれの地域が発展できるよう又合併してよかったと思える街にするためには。

市長 市民の皆様が合併してよかったと思える街にしたい気持ちは同じです。その為に全体を見て、特色を生かせる整備と各地域の問題解決を行う整備をバランスよく進めていく。



今後の課題：吉永駅周辺整備

問 令和6年度決算状況をどのように評価しますか。実質公債費比率8.6%、経常収支比率89.2%、財政力指数0.42、財政調整基金約66億円であるがどのように評価しているのか。

市長 令和6年度の決算状況は現在のところ健全性は維持されていると評価します。

防災対策について（タイムライン）

問 台風等の風水害について72時間前からの時間経過に従った防災対策を。

市長 タイムライン、事前防災行動計画について、災害の種類によって時間軸は異なるが、状況に応じて災害対策本部を設置し、警戒レベルの発令、避難所の開設、職員の配備体制など、段階的に対応する。

問 市長不在時の代行順位は。

市長 市長不在時にも指揮命令系統の確立が不可欠であり、職務代理者として副市長、次に市長公室長、次に危機管理課長が遂行する。

総務産業委員会

総務産業委員会は、9月18日、22日に開催し、付託された案件の審査ほか、所管事項を調査しました。審査議案はいずれも原案可決・認定、請願は不採択と決し、本会議に報告しました。

■備前市下水道条例の一部改正〔原案可決〕

能登の災害を教訓に、災害その他非常の場合に市長が必要であると認めるときは、本市以外の市町村で指定を受けた指定工事店でも、排水設備等の災害復旧工事を行うことができるようにするもの。

■残土処分場調整池整備工事の請負契約の変更〔原案可決〕

前回の工期延長後も引き続き岩盤の破碎に相当の時間を要し施工の進捗に遅れが生じたことから、再度変更契約を締結し工期を9月30日から令和8年2月28日にするものです。

今後は、工期設定を厳密に行い工期内の完成を確実に図るべく、請負業者と十分に連携し円滑な進捗に努めるよう指摘して全会一致で可決しました。

■令和6年度決算【認定】

水道事業会計については賛成多数で、下水道事業会計及び三石財産区管理事業特別会計のほか7つの特別会計の歳入歳出決算については全会一致で認定しました。

■所管事務調査・報告から

○現在休止している三石のコンビニ事業について、先月、進出を検討しているコンビニ事業者と面談し、オーナー候補が複数あるとの報告がありました。

■7月7日の議会報告会

備前市文化芸術振興財団の理事長らをお招きして、2月及び6月定例会後の議会報告会を実施しました。財団の要望として「開館時は盛大だが、次年度以降、予算が大幅に減額され、四苦八苦している美術館が多い。当館も巨額の費用をかけた施設であるから、どのように生かしていくかを当然考えるが、議会には予算の裏付けをお願いしたい。」との要望がありました。

委員会視察

7月に栃木県足利市の「史跡足利学校」と群馬県前橋市の「アーバンデザイン推進事業」について視察調査しました。「史跡足利学校」は首都圏に近いという立地的な利点と交通の利便性を活かし、関係団体や市民と連携して多彩なイベントを開催し、交流人口や観光客の増加に取り組んでおられます。山あいにある「旧閑谷学校」は立地条件が異なりますが、自然豊かな環境を活かした取組、岡山県、旧閑谷学校顕彰保存会や市民との連携では役割を明確化し、特に観光客増加に向けた取組に注力する必要性を感じました。

前橋市では、官民協働で長期的視点に立ったまちづくりビジョンである「アーバンデザイン」を策定されています。本市でも、都市再生整備計画を作成し、公共施設の再編集集中を行い回遊性や都市拠点の魅力向上を目標として各種事業に取り組んでいますが、備前市のアーバンデザインを策定することが重要であると感じた視察となりました。



(総務産業委員長 森本洋子)

厚生文教委員会

厚生文教委員会は、9月17日、19日に開催し、付託された案件の審査ほか、所管事項を調査しました。審査議案はいずれも原案可決・認定と決し、本会議に報告しました。

令和6年度決算〔認定〕

病院事業会計、国民健康保険事業、後期高齢者医療事業及び介護保険事業の特別会計の歳入歳出決算について全会一致で認定しました。

なお、病院事業について、入院患者数は伸びて収益は増えたが、物価高騰や職員給与の引き上げが影響して経費がそれを上回っており、非常に厳しい経営状況を強いられているとの説明がありました。

所管事務調査・報告から

○ALT事業について、今後の方針を決定するうえで、各学校におけるALTの活用状況と今後の改善点の把握を目的とした調査を実施したとの報告がありました。（概要は下表のとおり）

成 果	小学校	声掛け、外遊び、教員との連携など積極的、意欲的に取り組んでいる。 教育支援員としての能力を発揮するのは難しい。 授業支援中のALT同士の会話が適切でない場合がある。	10校 1校 1校
	中学校	授業の準備、生徒との関わりなど、積極的、意欲的に取り組んでいる。 生徒1人当たりと接する時間が多く取れている。 支援を必要とする生徒への個別対応ができています。	5校 2校 1校
課 題	小学校	外国語以外の授業での活用 パソコンの貸与がないこと 教職員との意思疎通 児童との意思疎通	7校 6校 3校 2校
	中学校	パソコンの貸与がないこと 英語以外の授業での活用	4校 2校
適正な 人員配置	小学校 中学校	増員が適切 0校（小学校0校 中学校0校） 現状が適切 4校（小学校1校 中学校3校） 減員が適切 9校（小学校7校 中学校2校） 分からない 2校（小学校2校 中学校0校）	

○国際バカロレア（IB）教育の取組について、モデル校を選定することを検討している。

また、12月末までに止める、休眠することも選択肢として方向性を決めるとの報告がありました。委員からは、学校現場や保護者の声を聞くアンケート調査等はできないかとの意見がありました。

7月8日の議会報告会

東備地域自立支援協議会の方々と2月及び6月定例会後の議会報告会を実施しました。厚見会長から協議会の概要を、各部会長から各部の概要と活動内容の説明を受けたのち、「障がい者の方への支援として何が足りていないのか」、「どれくらいの方を支援しているのか」、「地域の方にも参加していただけるよう活動しているのか」などについて質疑応答、意見交換を行いました。

協議会からは、障がい者の方が活躍できる場を行政の視点で検討し、創出してほしいとの要望がありました。



（厚生文教委員長 中西裕康）

予算決算審査委員会

予算決算審査委員会は、9月25日に令和7年度一般会計補正予算（第5号）を審査した結果、予算の一部を減額する修正案2件が提出されました。1件は否決、1件は採決の結果可否同数となったため、委員長裁決により可決し、本会議に報告しました。

なお、令和6年度一般会計歳入歳出決算は、閉会中の継続審査としました。

■補正予算（第5号）〔修正可決〕

表1の事業について、No.1及びNo.2を削除する案とNo.2を削除する案の2つの修正案が提出され、No.2の事業について関連予算を減額する修正案を可決しました。

なお、原案に賛成の立場から、「コロナ禍、諸物価高騰の折、備前市の地場産業や観光業を守り発展させることが、市民生活を守るために必要な予算措置であることは明らかである。」との少数意見が留保されました。

表1 《補正予算(第5号)の内、提出された修正案の内容》

No.	事業名	補正額(千円)	事業概要
1	備前商工会議所補助金	8,500	中小企業支援のための備前商工会議所補助金の増額
2	観光協会補助金	7,700	観光振興策の担い手となる備前観光協会補助金の増額

表2 《補正予算(第5号)の主な事業の内容》

事業名	補正額(千円)	事業概要
基幹系業務端末更新	38,500	システム標準化に伴う電算システム改修委託料
職員用業務パソコン更新	19,800	経年劣化した職員用パソコンを更新する備品購入費
固定資産・家屋評価システム更新	12,050	メンテナンスが終了する家屋評価システムの更新業務委託料
戸籍システム改修	4,994	戸籍のフリガナ記載に伴う電算システム改修委託料
国際交流事業(行事企画運営委託料)	▲28,500	・アメリカ・トーランス市への児童生徒の派遣を見送る(減額) ・フランス・ヴァロリス市への派遣を取りやめる(減額)
【繰越明許費】 公用車(市営バス 7台)	0	リース期間の終了する小型市営バスに代えて、新たな車両を導入するための事業費について繰越明許費設定(51,495千円)
企業用地造成事業特別会計繰出金	24,674	福満地内企業用地造成に伴う水路付替工事のための特別会計繰出金の増額
中国曲陽県との産業観光交流	2,970	備前焼まつりに出展する中国曲陽県定窯作家の受入に係る行事企画運営委託料
公有財産購入費(伊部地内)	46,500	伊部駅西側の観光バス駐車場として使用している岡山県備前焼陶友会が所有する観光駐車場用地を確保するための公有財産購入費
消防団員用安全靴購入	7,178	消防団員が使用する安全靴の購入
全国瞬時警報システム(J-ALERT)整備委託料	4,598	更新時期の到来に伴う全国瞬時警報システム(J-ALERT)整備委託料
備蓄品	3,700	備蓄目標を充足するための災害備蓄品購入
【債務負担行為: R7~R8】 図書館システム導入委託	R7: 0 R8: 14,000	更新時期の到来に伴う図書館システム導入委託料に係る債務負担行為設定
体育施設修繕	10,723	チオビタ運動公園の温水プールろ過ポンプ及び高圧受変電設備に係る修繕費
体育施設指定管理料	24,379	指定管理者の決算状況等を踏まえたチオビタ運動公園ほか市内体育施設の指定管理料の増額

(予算決算審査委員長 山本 成)

議案等審議結果

案 件 名	議決状況	議決形態
令和7年度補正予算		
一般会計補正予算(第4号)	原案可決	全会一致
一般会計補正予算(第5号)	修正可決	賛成多数
国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	全会一致
後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	//	//
介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	//	//
飲料水供給事業特別会計補正予算(第1号)	//	//
駐車場事業特別会計補正予算(第1号)	//	//
企業用地造成事業特別会計補正予算(第2号)	//	//
水道事業会計補正予算(第2号)	//	//
下水道事業会計補正予算(第1号)	//	//
条例制定・改正・廃止		
職員の育児休業等に関する条例の一部改正	原案可決	全会一致
公民館設置条例の一部改正	//	//
体育施設設置条例の一部改正	//	//
下水道条例の一部改正	//	//
船舶等の係留保管の適正化に関する条例	//	//
令和6年度決算		
一般会計歳入歳出決算の認定	継続審査	—
国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	認 定	全会一致
土地取得事業特別会計歳入歳出決算の認定	//	//
三石財産区管理事業特別会計歳入歳出決算の認定	//	//
三国地区財産区管理事業特別会計歳入歳出決算の認定	//	//
浄化槽整備事業特別会計歳入歳出決算の認定	//	//
後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定	//	//
介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	//	//
飲料水供給事業特別会計歳入歳出決算の認定	//	//
宅地造成分譲事業特別会計歳入歳出決算の認定	//	//
駐車場事業特別会計歳入歳出決算の認定	//	//
企業用地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定	//	//
水道事業会計決算の認定	//	賛成多数
下水道事業会計決算の認定	//	全会一致
病院事業会計決算の認定	//	//
その他の議案・報告ほか		
財産の取得(スクールバス、GIGAスクール端末)	原案可決	全会一致
市道路線の変更	//	//
残土処分場調整池整備工事の請負契約の変更	//	//
観光旅客船建造事業の請負契約の変更	//	賛成多数
教育委員会委員の任命同意	同 意	全会一致
人権擁護委員の候補者の推薦	適 任	//
継続費精算報告書の報告	報 告	—
令和6年度健全化判断比率及び資金不足比率の報告	//	—
請願		
吉村武司前市長の認諾申出書の作成及び使用についての調査を求める請願(請願第17号)	不 採 択	賛成少数

備前市議会議員研修会の開催について

備前市議会議員研修会を開催いたしますのでお知らせいたします。

今回の議員研修会は、「地域から変えよう日本の政治（仮称）」と題して、専門的な知見から講義をいただく予定で、市民の方も参加可能となっております。傍聴を希望される方は事務局までお知らせください。

開催日時 11月18日(火) 13時00分～15時30分

会場 備前市役所 6階 議事堂

講師 法政大学大学院公共政策研究科

教授 白鳥 浩（しらとり ひろし）氏

研修内容 地域から変えよう日本の政治（仮称）

・選挙について知っておくべきこと ほか

お問合せ 備前市議会事務局

TEL：0869-64-1803 FAX：0869-64-1074

E-mail：bzgikai@city.bizen.lg.jp



ようこそ備前市へ

備前市議会では、全国の議会関係者から行政視察を受け入れています。令和6年10月から1年間で8自治体等45名が備前市の施策や事業の視察に訪れました。

議会では今後もこうした施策の状況を注視していき、本市の先進的な取組をPRしながら積極的に視察の受け入れを行っていきます。

R6.10～R7.9 行政視察等の受入状況

自治体名	人数等	視察内容
静岡県 袋井市	民生文教委員会 7名	まちじゅうどこでも図書館の運営について
茨木県 常総市	文教厚生委員会 7名	給食費及び学用品費の無償化について
大分県 中津市	総務企画環境委員会 7名	地域公共交通の取組について
北海道 名寄市	(会派)市民ネット 3名	まちじゅうどこでも図書館の取組について
徳島県 美馬市	福祉文教常任委員会 7名	給食費及び学用品費の無償化について
秋田県 大館市	(会派)令和会外 7名	伝統的工芸品(備前焼)について
山口県 山口市	(会派)やまぐち有隣会 6名	里海里山活動の推進について
岡山県 岡山市	(会派)おかやま未来プロジェクト 1名	おむつのサブスク(Kaoすまいる登園)導入について

12月定例会の予定

〈開議時刻は9時30分から〉

日	月	火	水	木	金	土
	12/1	2	3 開会 議案上程	4	5	6
7	8	9	10 一般質問	11 一般質問	12 一般質問	13
14	15 議案質疑 委員会付託	16 総務産業 委員会	17 厚生文教 委員会	18 総務産業 委員会	19 厚生文教 委員会	20
21	22 予算決算 審査委員会	23 (予備日)	24	25 討論・採決 閉会	26	27
28	29	30	31			

※予定は変更になる場合があります。

みる・きく

○本会議・委員会の傍聴ができます。

市役所6階 議会フロアにお越しください。

○本会議の様様をインターネットで中継・録画配信しています。

備前市議会ホームページ

[https://www.city.bizen.](https://www.city.bizen.okayama.jp/soshiki/23/)

okayama.jp/

soshiki/23/



議会報告会「議員とわがまちトークコーナー」のお知らせ

市民の皆様と議員が意見交換を直接できる機会となります。市政、市議会への質問や意見交換など、ご希望の皆様の参加をお待ちしております。

開催日 11月8日(土) 10時30分～14時00分

会場 備前市チオビタ運動公園 市民体育館 サブアリーナ

市民ふれあい福祉まつり内ブース

編集後記



市議会だよりをご愛読いただきありがとうございます。年に4回行われる定例会で、何を議論しているのか、本市の問題について議員はどんな動きをしているのか、詳しくお伝えするのが議会だより編集委員会の役割です。備前市にかかわる情報公開と市政に関する議論や諸課題を市民の皆様と共に考えていくための、一つの架け橋になればと思います。今後とも分かりやすく、議会に興味を持っていただける紙面づくりを目指してまいりますので、引き続きご愛読いただきますようお願い申し上げます。

(編集委員 山本 成)

備前市議会だよりをご愛読いただき誠にありがとうございます。今後のより良い紙面づくりのため、皆様のご意見・ご感想を「議会だより編集委員会」までお寄せください。

〒705-8602 備前市東片上126 備前市議会だより編集委員会

FAX : 0869-64-1074 / TEL : 0869-64-1803 / E-mail : bzgikai@city.bizen.lg.jp

※お寄せいただきましたご意見等につきまして、個別に回答はいたしませんのでご了承願います。



●この議会だよりは再生紙を使用し、環境にやさしい植物油インキで印刷しています。
●ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。